

## 2017年度 年間報告書



一般社団法人 **千歳青年会議所**

事務局

〒066-0042

千歳市東雲町3丁目2-6 千歳商工センター1F

TEL : 0123-24-6868

FAX : 0123-24-6868

URL : <http://chitose-jc.com/>

E-mail : [mail@chitose-jc.com](mailto:mail@chitose-jc.com)

今こそ、はばたけ！

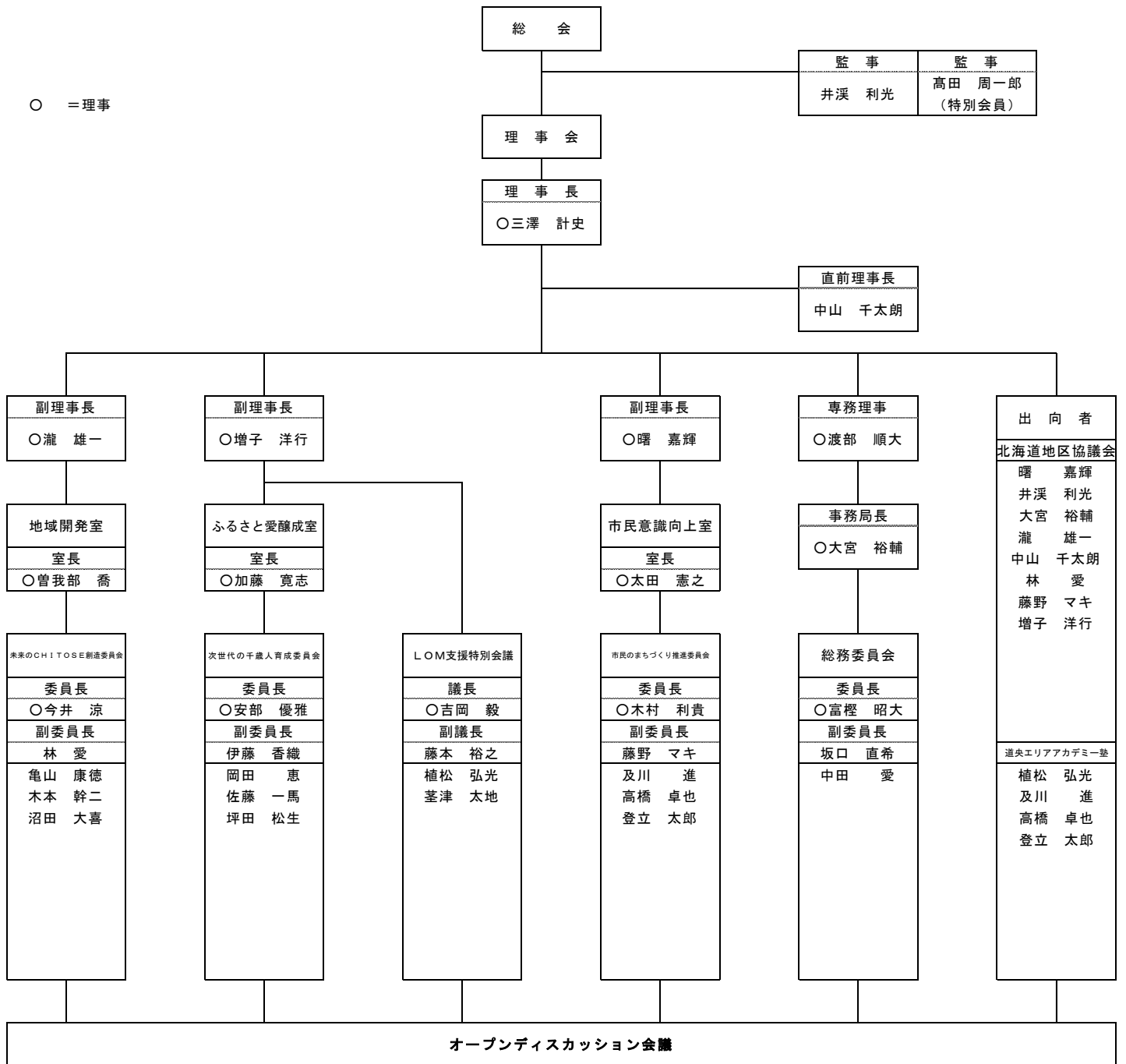
「良心と主体性の育む千歳ブランド」

# 目次

|                                                  |         |
|--------------------------------------------------|---------|
| 組織図                                              | ( 2 )   |
| 理事長報告                                            | ( 3 )   |
| 事業・例会報告                                          | ( 5 )   |
| 外部事業報告                                           | ( 1 5 ) |
| 活動報告                                             | ( 1 6 ) |
| 1. 直前理事長 中山 千太郎                                  |         |
| 2. 副理事長 瀧 雄一                                     |         |
| 3. 副理事長 増子 洋行                                    |         |
| 4. 副理事長 曙 嘉輝                                     |         |
| 5. 専務理事 渡部 順大                                    |         |
| 6. 監事 井溪 利光                                      |         |
| 7. 監事 高田 周一郎(特別会員)                               |         |
| 8. 地域開発室 室長 曾我部 喬                                |         |
| 9. ふるさと愛醸成室 室長 加藤 寛志                             |         |
| 10. 市民意識向上室 室長 太田 憲之                             |         |
| 11. 事務局 事務局長 大宮 裕輔                               |         |
| 12. 未来のCHITOSE創造委員会 委員長 今井 涼                     |         |
| 13. 次世代の千歳人育成委員会 委員長 安部 優雅                       |         |
| 14. 市民のまちづくり推進委員会 委員長 木村 利貴                      |         |
| 15. LOM支援特別会議 議長 吉岡 毅                            |         |
| 16. 総務委員会 委員長 富樫 昭大                              |         |
| 出向者報告                                            | ( 2 4 ) |
| 1. 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会<br>顧問 井溪 利光            |         |
| 2. 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会<br>地区大会運営室 室長 中山 千太郎   |         |
| 3. 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会<br>教育再生推進委員会 委員長 瀧 雄一  |         |
| 4. 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会<br>地区大会運営委員会 副委員長 曙 嘉輝 |         |
| 5. 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会<br>教育再生推進委員会 委員 大宮 裕輔  |         |
| 6. 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会<br>教育再生推進委員会 委員 藤野 マキ  |         |
| 7. 道央エリアアカデミー塾 塾生 及川 進                           |         |
| 8. 道央エリアアカデミー塾 塾生 登立 太郎                          |         |
| 年間MVP報告                                          | ( 2 7 ) |
| 会員拡大メッセージ                                        | ( 2 8 ) |

2018年度理事長 渡部 順大

一般社団法人千歳青年会議所 2017年度 組織図



正会員 33名  
特別会員 1名

## 理事長報告



一般社団法人千歳青年会議所  
第54代理事長  
三澤 計史

### 【はじめに】

日頃より一般社団法人千歳青年会議所の活動に対し、関係各所並びに千歳青年会議所先輩諸氏の皆様には多大なるご協力を賜り深く感謝申し上げます。

約半世紀に及ぶ歴史の中で、千歳青年会議所は地域に信頼され、まちづくりに必要な団体として成長してきましたが、現在全国各地の青年会議所と同様に千歳青年会議所もマンパワー不足という課題と直面しております。しかし、私たちは若者らしいチャレンジ精神と行動力を持って、地域に寄与する団体として精一杯活動致しましたので、3つの行動提案に沿った運動と、本年の組織運営についてご報告申し上げます。

### 【地域の魅力輝く千歳創造運動】

本運動の本質は地域資源の利活用による賑わいの創出であります。これまで、千歳青年会議所の先輩諸氏は千歳川を地域資源とし、千歳川清掃に代表される市民の千歳川に対する愛着を深め、魅力を発信する活動を行ってきました。そして、2014年より開催しております「CHITOSE RIVER CITY PROJECT」を本年も実施しました。本年は、長きにわたり先輩諸氏が守り続けてきた千歳川に対する魅力と誇りを広く発信すべく、河川空間のデザインに特化した「千歳川テラス」を設置することで、来場者に少しでも彩られた日常から得られる精神的な豊かさを体験していただくことができました。

今後の展望としては、千歳川に創出される賑わいを中心市街地地区の持続可能な発展につなげると共に、新千歳空港を有する千歳の優位性を活かすことでインバウンド需要を享受しながら、さらに輝く地域へと発展すべく運動を展開して参ります。

### 【ふるさと愛溢れる千歳創造運動】

地域へ対する帰属意識や愛着がまちを発展させるために行動するエネルギーの源になるという考えのもと、市内の高校生と共に地域にふるさと愛を醸成すべく運動を推進しました。本年度より名称を変更した事業「Junior Chitose Ambassador」においては、高校生ならではの柔軟な視点から千歳の魅力を発信していただき、次世代のまちづくりに向けたリーダーの存在と新たな千歳の可能性を感じることができました。

日本各地で人口減少や世帯の核家族化による地域コミュニティの希薄化が課題としてあげられる今、誰もが豊かさを感じることでできる千歳へと発展させるためには、いかに市民がふるさとにつながりを作り生きていくかが重要であります。私たちはふるさと愛がより多くの市民に広がり、地域を想う人の手で千歳市が発展していくように、これからもふるさと愛溢れる千歳創造運動を実践して参ります。

#### 【志高い市民集う千歳創造運動】

国策により地方創生の考え方が広がり、各自治体が地域の活性化に対して主体性を持つことの必要性が日本国民に浸透してきている今、私たちはその役割を自治体だけではなく市民一人ひとりが担うことにより、さらなる地域の活性化につながると考えております。運営主体は千歳青年会議所から市民中心の実行委員会に移行しておりますが、本年も実施した千歳市民討議会には市民目線で地域課題を抽出していくことと共に、まちづくりに対して市民が当事者意識を持つことで、志高い市民を創出していくことに真意があると言えます。

私たちの活動には、千歳市民討議会のみならず、多くの市民や団体の皆様と協働して行っている事業が多数あります。これからは、お互いの存在意義を再確認し、社会の変化に対応しながら、価値を生み出すように誘導し合える関係を築いていくことにより、市民主体のまちづくりを推進して参ります。

#### 【地域社会への還元】

青年会議所はまちづくり団体であると同時に人づくり団体であると言われております。本年はL O M支援特別会議を設置し、会員の青年会議所会員としての資質向上と、スピーチとコミュニケーション能力を高める事業を実施することにより、地域で活躍できる人財を育成して参りました。

また、地域の皆様の信頼と期待に応えられるように規律ある組織運営を行い、行動提案に沿った運動の公益性を高めると共に、時代に合わせたインターネット媒体の利活用による広報を行うことで、千歳青年会議所の価値を高めていくことにも注力致しました。

#### 【結びに】

改めて、本年度の千歳青年会議所の活動に際し、関係各所並びにO B諸氏、そして会員のご家族の皆様には、多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、本年度の活動を通じて育まれた地域と人からなる千歳ブランドが、一人でも多くの市内外の方に認知されていくことを期待して理事長報告とさせていただきます。一年間誠にありがとうございました。

# 事業・例会報告

## 2017年度1月例会(新年交礼会)

|     |                            |
|-----|----------------------------|
| 日時  | 2017年01月16日(月)18時～20時      |
| 場所  | ANAクラウンプラザホテル千歳 2階 千歳の間    |
| テーマ | 今こそ、はばたけ！～良心と主体性の育む千歳ブランド～ |
| 主管  | 総務委員会                      |

### 【委員長所見】

新年度多くの来賓、先輩諸兄を迎えて行われる例会を担当させていただくことはとても貴重な体験となり、必死にやった分だけ周りの方から直接言葉になって返ってきます。青年会議所は失敗しても良い団体であります、多くの来賓の方々をお招きする新年交礼会だけは失敗してはいけない気持ちで挑まなければなりません。そんな例会だからこそ、助けてくれるメンバーの存在がとても頼もしく思え、どの例会よりもLOMの一体感を出せる時間だと感じます。仲間を大切に、感謝の気持ちを忘れず活動して参ります。



## 2017年度2月例会

|     |                                 |
|-----|---------------------------------|
| 日時  | 2017年02月09日(木)19時～21時           |
| 場所  | 千歳商工センター2階 大会議室                 |
| テーマ | 成長目標をコミット～修練を通じた成長の機会と人財育成に向けて～ |
| 主管  | LOM支援特別会議                       |

### 【議長所見】

年度当初、1回目の対内向け例会という事もあり、自身としっかりと向き合う機会を設け、1年間の運動、活動に対して目的意識を持って取り組んで頂くよう例会内容を構築致しました。例会中のプレゼンテーションではJCが掲げる三信条に触れ、自発的な修練の必要性、JCが行う奉仕はボラティアとは違い、そしてJCI、国際青年会議所に属する一正会員としての無限の可能性「世界との友情」について説明致しました。



## 2017年度3月例会

|     |                           |
|-----|---------------------------|
| 日時  | 2017年03月09日(木)19時～21時     |
| 場所  | 千歳商工センター2階 大会議室           |
| テーマ | 確かなまちづくりの第一歩は、聞き出すチカラにあり！ |
| 主管  | 市民のまちづくり推進委員会             |

### 【委員長所見】

例会の運営に当たり、初の主管ということ、また入会半年未満のメンバーが多く、経験不足もあり、苦い思いをしたこともありました。その中での委員会メンバーの個々の努力、正会員、また実行委員会メンバーの皆様にご協力いただいて無事終えることが出来ました。反省点をバネに、これからの我々委員会の事業・例会、また日頃のJC活動に、委員会メンバー一丸となって取り組んで参ります。今回で味わえた辛さ、そして楽しさを今年一年、皆様と共有していけるよう精進して参ります。



## 2017年度 第1回LOMアカデミー

|     |                              |
|-----|------------------------------|
| 日時  | 2017年03月21日(火)19時～20時半       |
| 場所  | 千歳商工センター2階 大会議室              |
| テーマ | JC道場入門～LOMの現状を理解し同じベクトルを向こう～ |
| 主管  | LOM支援特別会議                    |

### 【議長所見】

セレモニーの理解を深めるプレゼンテーションで、セレモニーについての基礎を学び、「セレモニー道場」で実践練習を致しました。キャリアメンバーと歴の浅いメンバーでグループずつセレモニーの指導や練習を実施する事で普段接しない会員相互の交流にも繋がりました。今後1年間に掛けてメンバー全員が自信を持って各セレモニーを唱和できるようになるための工夫として、会議体メンバーで定期的に各委員会を訪問し委員会開催時にセレモニーがしっかりと行われているか確認をし、メンバーのセレモニーに対する意識を高めて参ります。



## 2017年度4月例会

|     |                                                  |
|-----|--------------------------------------------------|
| 日時  | 2017年04月13日(木) 19時～20時半                          |
| 場所  | 丸駒温泉旅館                                           |
| テーマ | ～CHITOSE RIVER CITY PROJECT2017に向けて～運命共同体の道を歩もう！ |
| 主管  | 未来のCHITOSE創造委員会                                  |

### 【委員長所見】

三役並びに各委員会メンバーの協力もあり、普段交流したことの無いメンバーも懇親会、宿泊を通じて懇親を深めたことで事業に対して活動していく意識を高めていくことが出来ました。しかしながら、講師との打ち合わせ不足やプレゼンテーションの精度が低かったことなど課題はありましたが、委員会メンバー一同しっかりと課題に対して向き合って事業に取り組んで行くとともに12月例会では精度の高い例会を成功させていくのだという気概を持って運動に取り組んでいきます。



## 2017年度5月例会

|     |                         |
|-----|-------------------------|
| 日時  | 2017年05月15日(木) 18時半～21時 |
| 場所  | 福住屋内運動場                 |
| テーマ | フライングディスク ガッツ 3LOM交流大会  |
| 主管  | 次世代の千歳人育成委員会            |

### 【委員長所見】

「フライングディスク ガッツ」というスポーツをすることとなりました。デモンストレーションを行いながら、問題点の抽出、改善を考えながら合同委員会を重ねる中で、3LOMの委員会メンバーの親睦を深めることができました。マイナースポーツを選んだことで色々な懸念もありましたが、手探りながらも競技に慣れていきながらチーム内のメンバーとも距離が縮まっていき、最後にはチーム一丸となり、新たな輪ができたのではないのでしょうか。今後益々3LOM間の親睦を深め、会員皆様の個々の成長に繋げて頂きたいと存じます。



## 2017年度 第2回LOMアカデミー

|     |                                 |
|-----|---------------------------------|
| 日時  | 2017年05月30日(火) 19時～21時          |
| 場所  | 千歳商工センター2階 大会議室                 |
| テーマ | 先輩から受け継がれる意思～情熱を受け今後のJC活動に繋げよう～ |
| 主管  | LOM支援特別会議                       |

### 【議長所見】

勝俣先輩の講演では、JCを通じて経験した例会や事業について、JCに対する熱い想いを現役メンバーに伝えて頂きました。また、対談では三澤理事長に今年度のスローガンや理事長所信で掲げる「千歳ブランド」についての説明や今年度、千歳JCが展開を進める運動についてお話を頂きました。また「地区大会誘致」についてのテーマにも触れ、地区大会を誘致する必要性や意義などをお話頂きました。アンケートの回答結果、JCに対する考えや地区大会誘致への興味など、正会員の意識向上について事業実施による一定の効果があつたと感じます。



## 2017年度6月例会

|     |                              |
|-----|------------------------------|
| 日時  | 2017年06月06日(火) 19時～21時       |
| 場所  | アサヒビール園千歳店                   |
| テーマ | 千歳異業種交流会2017～集え！まちの未来を担う青年達～ |
| 主管  | LOM支援特別会議                    |

### 【議長所見】

拡大状況の共有や地域の青年経済人との対話の中から、個々の正会員の会員拡大に対する意識喚起を行うことを目的として例会を構築致しました。例会中では参加者同士がより多くの方と交流を図れる事を目的に「名刺交換会」「席替え」「余興クイズ」などを実施しました。全正会員が本気になって会員拡大に取り組めば、まだまだ可能性は無限大にある事を実感致しました。ここで交流を図ったオブザーバーの皆様へこれからアプローチをして、いかに会員拡大に繋げていくかが重要です。



## 第5回千歳市民討議会

|     |                                 |
|-----|---------------------------------|
| 日時  | 2017年06月18日(日)9時半～16時半          |
| 場所  | 千歳市立千歳公民館 2階大集会室                |
| テーマ | Voice of ちとせ みんなで話そう！次世代を育むための道 |
| 主管  | 市民のまちづくり推進委員会                   |

### 【委員長所見】

今年は昨年より正会員の参加率も高く、皆様にお手伝いいただき無事に終えることが出来、特に市民討議会実行委員会メンバーが主体的に動いている姿は昨年以上であったと実感いたしました。また、関係諸団体の皆様のご協力もあり、志高い市民を創出出来たと自負しております。これから報告書冊子の作成になりますが、委員会・実行委員会メンバー一丸となって、最後まで気を抜かず取り組んで参ります。



## 2017年度7月例会

|     |                        |
|-----|------------------------|
| 日時  | 2017年07月13日(木)19時～21時  |
| 場所  | ホテルグランテラス千歳 2階 鳳凰の間    |
| テーマ | ～「資源家」が育つことが千歳の価値を高める～ |
| 主管  | 三役                     |

### 【専務理事所見】

鈴木輝隆氏の講演は、非常に有意義な時間であったことと感じています。本例会を通じて、千歳ブランドの確立の位置づけや考え方の共有が図れたとともに、千歳青年会議所全会員が自主的に活動を行い、新たな価値を創造する人材へと成長を遂げるきっかけになったのであれば幸いです。ご参加いただき誠にありがとうございました。



## Junior Chitose Ambassador 2017

|     |                |
|-----|----------------|
| 日時  | 2017年08月09日(水) |
| 場所  | 北ガス文化ホール       |
| テーマ | 千歳の魅力を伝え観光PR   |
| 主管  | 次世代の千歳人育成委員会   |

### 【委員長所見】

参加の高校生に千歳を好きになってもらいたいという思いから、テーマを千歳の魅力を伝え観光PRとすることに致しました。参加の高校生には千歳を知るきっかけとなり、事業参加前と比べて千歳に愛着を持ってもらうことができました。また、事業への協力を依頼した全ての企業、団体に協力を快く引き受けてもらうことができ、ふるさと愛醸成期間のバスツアー「地域に会いに行こう」の開催に至ることができました。地域の宝である子供たちが千歳へのふるさと愛を持って、今後まちづくり人へと育っていくためにも、わたしたちがまちづくり人としての自覚を持ち、こどもたちを先導していく必要があることを再認識致しました。



## 2017年度8月例会

|     |                         |
|-----|-------------------------|
| 日時  | 2017年08月18日(金) 18時～21時半 |
| 場所  | 千歳市民納涼盆踊りグリーンベルトメイン会場   |
| テーマ | 浴衣の女王選手権 2017           |
| 主管  | 市民のまちづくり推進委員会           |

### 【委員長所見】

この伝統ある例会は、年によって参加者、また投票率に変化があり、良くも悪くも先の読みにくい例会であります。浴衣の女王選手権参加者からも盆踊り大会に参加できて良かった、楽しめたのでまた来年も参加したいとのお声もいただきました。この例会を次年度も続けて行くためには、関係者、また参加者にしっかりと内容をご理解いただいた上で開催に望む必要があると考えます。



## CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2017

|     |                       |
|-----|-----------------------|
| 日時  | 2017年08月26日(土)～27日(日) |
| 場所  | 千歳川河畔公園及び河川敷          |
| テーマ | 川辺にワイン～千歳川テラス～        |
| 主管  | 未来のCHITOSE創造委員会       |

## 【委員長所見】

千歳青年会議所の花形事業である、リバーシティプロジェクトの担当させていただき、この1年間、どのようにCHITOSEブランドを創出して、千歳川の魅力を発信していくかを日々考えて事業に取り組んできた結果、道内では初の試みのであるテラス席を川の上に設置することができました。当初不可能であると思われていた手法が実現できたのは、正会員の皆様のご協力があったお陰であります。正会員の皆様には、心より感謝申し上げます。



## 2017年度9月例会

|     |                        |
|-----|------------------------|
| 日時  | 2017年09月14日(木) 18時～21時 |
| 場所  | 千歳商工センター2階 大会議室        |
| テーマ | 地域の魅力発信！目指せ、Ambassador |
| 主管  | 次世代の千歳人育成委員会           |

## 【委員長所見】

年当初、この例会では事業の関係者、関係団体などをお呼びして、次年度以降へ繋がるように連携の強化をする予定でした。しかし、本年度の事業において、対外の協力は十分に得られたものの、委員会の働き掛けも足りず、対内への事業発信が不足していると感じ、本来ならば事業前に行うような内容の例会を本例会で行うこととなりました。当委員会の事業に関わらず、各事業において、委員会メンバー以外の協力は必要不可欠です。委員会に与えられた運動に全力で邁進していくことはもちろん、千歳青年会議所内で行う他の委員会が推進する運動に関しても事業当日だけではなく、準備段階から理解、協力していくとともに、担当する事業について



## 2017年度 第3回LOMアカデミー

|     |                            |
|-----|----------------------------|
| 日時  | 2017年09月18日(月) 11時半～13時45分 |
| 場所  | サケのふるさと千歳水族館 2階 学習室        |
| テーマ | 広げよう～交流の輪～共に学ぼう「親道」プログラム   |
| 主管  | LOM支援特別会議                  |

### 【議長所見】

正会員、ご家族との相互交流、子育て世代として、家庭や教育に対する理解の向上、ご家族の青年会議所に対する理解の向上を目的として事業を構築致しました。「親道プログラム」では、お子様が居るご家庭、子作りやパートナー作りに励むご家庭につきましても、子供と向き合うことや躰の大切さを再認識して頂けたのではないかと思います。まずは私達1人1人が自身を磨き、自己成長を通じて自身を変化させる事により、物事の見方を変えていくことがとても重要であると考えます。そして、そんな機会を提供し続けているのが青年会議所であります。



## 2017年度10月例会

|     |                              |
|-----|------------------------------|
| 日時  | 2017年10月12日(木) 19時～21時       |
| 場所  | 千歳商工センター2階 大会議室              |
| テーマ | 声なき声を届けるために～第5回千歳市民討議会 報告例会～ |
| 主管  | 市民のまちづくり推進委員会                |

### 【委員長所見】

本例会は、市民討議会当日に参加できなかった正会員にも市民討議会の必要性を知っていただき、我々委員会・実行委員会の活動にも触れていただく為、提言書作成にもご協力いただきました。しかし、当日の正会員の出席が少なく、市民討議会・例会両方不参加の正会員もいらっしゃいました。また、提言書の作成が遅れてしまい、年当初に考えていた目的とは異なる例会となりました。そこを反省点として受け止め、今後「志高い市民」を醸成するためにまずは正会員へ発信できるよう、次年度の委員会へしっかりと引き継いでいきたいと思います。



## 2017年度11月例会

|     |                          |
|-----|--------------------------|
| 日時  | 2017年11月09日(木)18時～22時10分 |
| 場所  | 北ガス文化ホール 2階 調理室          |
| テーマ | ビストロJC 2017 チーム対抗料理対決！！  |
| 主管  | 次年度三役                    |

### 【次年度三役所見】

本例会では、2018年度を見据え、正会員の気概を高め、組織の団結力向上を目的に開催致しました。その為にも次年度三役を中心に100%例会を目指し、例会前から正会員に出席の参加を促し、完全な100%例会とはなりませんでした。全ての会員が例会会場に足を運んで頂き、次年度に向けた想いを伝え、会員にも感じとっていただけました。また、例会中は普段ではあまり見られない笑顔や与えられた課題にチーム全員で向き合う姿も垣間見え、次年度の理事長の基本理念を形に出来たのではないかと考えております。



## 2017年度 第4回LOMアカデミー

|     |                             |
|-----|-----------------------------|
| 日時  | 2017年11月27日(月)19時～21時       |
| 場所  | 千歳商工センター 2階 大会議室            |
| テーマ | 千歳JC出向者報告会2017 ～出向の魅力を伝えよう～ |
| 主管  | LOM支援特別会議                   |

### 【議長所見】

正会員には出向者による出向報告を聞く事で、出向に対する理解を深め、知見と自身の可能性を広げるキッカケとし、また、出向者自身にとっては、1年間の出向における活動を振り返り、活動内容を正会員にフィードバックする事で出向に対する労いに繋げる事を目的として事業を構築致しました。目的意識を持って課題に取り組む事で、今まで自身の枠組みには無かった新たな発見や課題解決意識が芽生え、さらには活動や親睦を通じて多くの出会いと信頼関係を築き上げる事が出来ます。



## 2017年度12月例会(卒業式例会)

|     |                         |
|-----|-------------------------|
| 日時  | 2017年12月01日(金)          |
| 場所  | ANA クラウンプラザホテル千歳 2階千歳の間 |
| テーマ | 「感動」                    |
| 主管  | 未来のCHITOSE創造委員会         |

### 【委員長所見】

目的の根幹は例年と同様でありましたが、手法については、三役主導のもと今までにない新しい取り組みを実施致しました。青年経済人として、失敗を恐れず物事にチャンレジしていく精神を持ってJC活動して頂ければ、2018年度の例会を楽しく笑顔に且つ、真剣に実施していけると思います。また、2017年度12月31日を持ってご卒業される、5名の卒業生の皆様本当にお疲れ様でした。今回の例会、懇親会で、改めてJCの三信条の1つでもあります友情を正会員で分かち合った事が出来たと思います。最後になりますが、2018年度は渡部理事長のもと、「空のまち、水のまち千歳を彩る灯りとなれ」をスローガンに笑顔の灯る組織を構築して参ります。正会員の皆様、本当にありがとうございます。



## 外部事業報告

### スノーバスターズ2017

|    |                |
|----|----------------|
| 日時 | 2017年01月28日(土) |
|----|----------------|



### ウエルカム花ロード2017

|    |                |
|----|----------------|
| 日時 | 2017年05月23日(火) |
|----|----------------|



### 千歳川清掃

|    |                |
|----|----------------|
| 日時 | 2017年08月26日(土) |
|----|----------------|



## 活動報告

一般社団法人千歳青年会議所  
2017年度 直前理事長  
中山 千太朗

一般社団法人千歳青年会議所の第53代理事長としての経験を活かし、本年、良心と主体性を育み如何なる時も温かく謙虚に全てのメンバーを牽引し、ふるさと千歳と千歳青年会議所の未来を見据え、世界に羽ばたく千歳ブランドの確立に向けた運動を展開し続けてきた三澤理事長をお支えするべく、直前理事長を拝命いたしました。直前理事長運営規定の「毎回理事会に出席し、理事長経験を活かし、所務、その他について必要な補助する」を遵守すべく北海道地区協議会の地区大会運営室室長の担いもありましたが、出席出来得るすべての理事会には出席し、時には厳しい意見もすることもありましたが規律ある理事会、例年になく素晴らしい事業、例会の構築のため補助、助言ができたものと考えます。また、理事会以外においても青年会議所での経験年数の少ないメンバーが多く組織運営で起こったさまざまな諸問題について、三澤理事長より受けた相談に対し補助、助言出来たものと思います。更には、本年も5名が卒業し、毎年、正会員が減少していくなか来年以降の千歳青年会議所の組織体制を見据え、新入会員を獲得したことは三澤理事長の一助になれたものと自負いたしております。私自身、本年をもって千歳青年会議所を卒業いたしますが、残る現役メンバーから頼られる一人のOBとなり今後も青年会議所の発展に尽力し、生涯一JAYCEEであり続けることを誓い直前理事長の報告とさせていただきます。

一般社団法人千歳青年会議所  
2017年度 副理事長  
瀧 雄一

2017年度は、副理事長という大役を三澤理事長から付託され、「地域の魅力」輝く千歳創造運動のもと担当する未来のCHITOSE創造委員会とともに事業・例会を構築して参りました。予定者段階から三澤理事長がスローガンに掲げる「今こそ、はばたけ！～良心と主体性の育む千歳ブランド～」に込めた想いを、どのように具現化し運動として実践していけるかを常に考えながら過ごした一年でありました。7月に開催された「CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2017」では、新たな事業価値であります「千歳川テラス」をお披露目し、千歳ブランドの確立を実現できたものと感じています。結びに、本年担当させていただいた委員会の例会・事業構築に際し、多大なるご協力を賜りました関係諸団体の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、私自身一年間の経験を糧に今後の青年会議所活動に精一杯取り組んでいくことをお誓いし役員報告とさせていただきます。

一般社団法人千歳青年会議所  
2017年度 副理事長  
増子 洋行

本年度、会員拡大とLOM内研修アカデミーを担当するLOM支援特別会議とふるさと愛溢れる千歳創造運動を推進するふるさと愛醸成室を担当させていただきました。LOM支援特別会議では本年、役員も含め入会3年未満が大半を占めている状況下でまちづくり運動を推進する組織づくりを行うために、研修事業の企画し、計4回実施いたしました。それと同時に会員の拡大に関わる活動を行いました。他の委員会とは違い、体内のメンバーに対する事業のため、性質上派手なものとはなりませんでした。着実にメンバーの資質向上に寄与致しました。ふるさと愛醸成室では本年で3回目となるJunior Chitose Ambassadorの企画運営をさせていただきました。本年は、ふるさと愛をどのように醸成させるかという点にこだわり、運動方針にもある「千歳に住まう子供から大人までが共に学ぶ」をどう実現させるにこだわり事業設計を行いました。そこで事業では、千歳市の協力を得て、ふるさと千歳を体験し学習するバスツアーを企画し、ふるさと愛の醸成プロセスに積極的にコミット致しました。地域が次世代の人を作る仕組みを「ふるさと愛の醸成機関」として構築し事業参加者のふるさとに対する価値観を変える活動を地域と一体となって行いました。発表会当日の来場者は前年よりも増加し着実に成果が出てきました。まだ未熟な事業ですが、今ではなく、次の世代を担う人を作る事業として発展させることができました。最後に、本年度事業実施にあたり多くの方の協力を得て実施することができました。特に会議体、委員会メンバーに多大な協力を頂き1年の活動を終えることが出来ました。メンバーの協力に感謝申し上げ、副理事長の報告とさせていただきます。ありがとうございました。

一般社団法人千歳青年会議所  
2017年度 副理事長  
曙 嘉輝

2017年度は市民意識向上室、市民のまちづくり推進委員会の担当副理事長として千歳青年会議所が掲げる「志高い市民集う千歳創造運動」の行動提案を実践すべく、担当事業である「第5回千歳市民討議会」を中心に市民一人ひとりの意識改革とミニパブリックスを形成出来る環境づくりの確立に取り組んで参りました。まずは、市民討議会実行委員会の独立に向けて、課題に対して円滑な対応が出来るように部会体制をとり、専門に課題に取り組んでいただくことができる組織としての体制づくりと実行委員会メンバーが討議会当日のコーディネーターを務めることで意見抽出の実践に取り組んでいただきました。そして、事業運営における予算をどこから計上するかという課題に向けては、「CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2017」に出店することで、資金調達への足掛かりとさせていただきました。また、8月には8月例会として浴衣の女王選手権を開催し、市民に夏祭りへの参画を促すとともにまちを盛り上げる気概の醸成に取り組み、初めてチケットが完売するという大盛況となりました。結びに、本年の事業構築に際して、多大なるご協力を賜りました関係諸団体の皆様と、共に事業を構築してきた千歳市民討議会実行委員会の皆様に深く感謝を申しあげるとともに、私自身もこの一年間の経験を糧に今後の青年会議所活動に邁進していくことをお誓い申し上げ役員報告とさせていただきます。

一般社団法人千歳青年会議所  
2017年度 専務理事  
渡部 順大

2017年度は、専務理事を拝命致しました、渡部順大です。昨年、千歳青年会議所に入会し、勝手も分からぬまま本年が始まり、そして終わりを迎えました。専務理事として、三澤理事長を十分にサポートし、会員をしっかりとめる事が出来たかと言えば、まだまだ足りないところは多々あったかと思えます。それでも本来であれば支える側だった私を三澤理事長自らがサポートして頂き、三役の皆さんにも支えられ一年をなんとか過ごす事が出来ました。新年交礼会から始まり、スノーバスターズやCHITOSE RIVER CITY PROJECT、地区大会、全国大会、毎月様々な事業を行い、また参加していく事は、会員全体の地力の底上げになったのではないのでしょうか。実際に、先輩諸氏から受け継いだ想いを事業という形で表現し、私たち現会員の力を出し切った結果は、満足のいくものだったと思います。私自身も三澤理事長と共に青年会議所のメンバーを先導し、まとめる事は来年への自信につながりました。37歳から始まった、人生において大切なこの時期に千歳青年会議所専務理事という役職を頂き、青年会議所の力となれた事は、とても貴重な経験となり感謝の念に堪えません。2018年度、私は理事長を拝命致します。2年間という短いキャリアですが、三澤理事長の傍で経験させて頂いた事を、次の世代への糧となるよう私自身邁進致します。一年間、本当にありがとうございました。

一般社団法人千歳青年会議所  
2017年度 監事  
井溪 利光

一般社団法人千歳青年会議所へ入会して10年。本年は卒業の年をむかえ委員長でさえ無いだろうと思っていた私が、様々な役職を経験し「監事」という役職をいただきました。今の私があるのは先輩諸兄にあたたかくも厳しくして頂いたおかげであると冒頭に感謝の意を述べさせて頂き、心から感謝を申し上げます。さて、本年は三澤理事長を筆頭にスローガン「今こそ、はばたけ！～良心と主体性の育む千歳ブランド～」のもと、理事長の所信にもとづき継続事業の中にも新たな取り組みがなされ、素晴らしい運動が展開されました。委員長をはじめ委員会メンバーの皆さま本当にお疲れ様でした。今後も継続事業を千歳のまちにとって必要とされる確かな運動に発展させていくことを祈念しております。しかし、監事といった役職で一つ上げるとすれば、それは理事会や例会における出席率が低かったのではないだろうか。青年会議所は意識を変える団体として、まずは身近な部分で会員の意識を変えていかなければ、市民の意識には届かないものである。計画書を作成するにあたり対外的な部分にとらわれずに対内的な部分にも着目していくことが必要であると感じました。とはいっても、本年は限られたメンバー数の中で3名の地区役員を輩出したことは、LOMとしての負担はあれども、今後の千歳JCを必ず飛躍させる糧となると考えます。以上、監事報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

一般社団法人千歳青年会議所  
2017年度 監事  
高田 周一郎

本年度は理事会構成メンバーで唯一のOBかつ最年長、また、個人的にJCに直接関わる最終年度であることから、過去の諸先輩から受け継いだ伝統・想いを現役メンバーに伝えたいと思案しながら理事会に挑んだ。千歳青年会議所は、創立50周年を機に策定した3つの行動提案に沿って3大事業を行っている。事業を単にこなすのではなく、本当にその事業が必要なのか、また、必要であるとして昨年度より進化させることができているかに力点をおいて理事会で意見を述べた。委員長をはじめとするメンバーのがんばりによりリバーシティプロジェクトでは道内初の「川テラス」、千歳ふるさと青年大使では「バスツアー」、市民討議会では「実行委員会の独立」といずれも昨年に比較して進化した事業を達成することができた。もっとも、対外的に見ても進化したと評価される程度のものであったか今一度検証が必要である。組織としては、メンバーの増加により千歳青年会議所の存在感を示せた場面があった反面、昨年に引き続き一部の献身的なメンバーに負担が集中するという場面が見受けられた。もっとも、11月例会では3年振りの100パーセント例会を達成する等、高く評価できる点もあった。今後も過去の伝統を踏まえつつ、若者らしい発想と行動力で千歳の町づくりに関わっていくことを祈念して、監事からの報告とさせていただきます。

一般社団法人千歳青年会議所  
2017年度 地域開発室 室長  
曾我部 喬

本年度、未来のCHITOSE創造委員会の室長として、千歳青年会議所の3大事業の1つである千歳リバーシティプロジェクトと2つの例会を担当させて頂きました。そして、室長予定者の段階で委員長と話し合った結果「運命共同体」をテーマに青年会議所活動に没頭する決意を胸に誓いました。しかしながら、響きの良いテーマに反して、最後まで委員長を含めた委員会メンバーをサポートする事が出来るかどうか、年内当初は期待よりも不安が勝っていたのを鮮明に覚えております。この不安を解消していく為に、担当ラインの副理事長、委員長とコミュニケーションを図りながら事業や例会に対し、強い目的意識を持って準備を行って参りました。そして委員会活動の成果として、室長活動方針にも記載があった地域資源を活かした空間プランの具現化を、千歳川テラスの設置という手法を用いて実現する事が出来ました。また、正会員の皆様のご協力もあり、多くの共感者を獲得する事が出来ました。この1年間、委員長とは「運命共同体」として互いに助け合いながら、楽しい時も苦しい時も常に一緒に過ごして参りましたが、事業を通じて「地域の魅力」輝く千歳創造運動の客観的評価を高めて、功績を残せた事は、非常に誇りであると思っております。結びに、ご協力頂いた関係諸団体の皆様に深く感謝申し上げますと共に、来年度も一生懸命、青年会議所活動に邁進する事をお誓いし役員報告とさせていただきます。

一般社団法人千歳青年会議所  
2017年度 ふるさと愛醸成室 室長  
加藤 寛志

ふるさと愛醸成室では、千歳青年会議所の継続事業であるふるさと事業「Junior Chitose Ambassador 2017」を通じ、対象となる高校生と共に、これからの千歳を想う心を醸成するために活動して参りました。高校生だけではなく、地域の企業、大人も巻き込み、世代を超えて千歳に対するふるさと愛を醸成し、新しい事業の形として、「地域に会いに行こう」と称し、高校生と共に千歳の観光・工業・自衛隊を学ぶべく地域を回りました。高校生の目を輝かせながら学ぶ姿を目の前にし、次世代に魅力を伝えなければならない我々自身が、千歳の新しい面に気付かされました。常に学ぶためにアンテナを張らなければならないことに改めて気づかされました。事業当日にはメンバーの協力のもと、高校生と共に事業を成功に導く事が出来ました。高校生から発信される千歳の魅力は、我々大人が改めて気づかされることばかりでした。第一回からの課題であった観覧者数も微増ではありますが青年会議所会員、参加高校生、一般観覧者で150名を超える観覧がありました。事業以降も市内各イベントで優勝校の生徒と共に魅力の発信を行い、千歳市民だけではなく、市外に対しても千歳の魅力を発信しました。一年間を通じ行われた事業の結果、多くの人々を巻き込み、千歳に対する愛着心を、そしてふるさと千歳に対する郷土の心を醸成することが出来、今後の継続すべき土台を作る事が出来ました。

一般社団法人千歳青年会議所  
2017年度 市民意識向上室 室長  
太田 憲之

本年度は、市民のまちづくり推進委員会を担当する市民意識向上室室長を拝命し、木村委員長を筆頭とする委員会メンバーの皆さんと事業・例会を構築して参りました。なんといっても本年度は市民討議会実行委員会の独立を目指し、その実現に向けた様々な取り組みを行いました。まずは実行委員各個人の資質向上をはかり、3月例会ではファシリテーション能力向上に注力しました。予算確保のためにリバーシティプロジェクトでは実行委員会で出店した事は、予算の確保も然る事ながら、実行委員会メンバーのさらなる結束の強化にも結びついたものと考えます。そして6月の市民討議会では子どもたちの未来について、特に教育問題について地域としてどう考えていくかを議論しました。大きく課題とされている学力とモラルや精神面などについて情報提供をいただいた事もあり、多くの意見を抽出する事ができました。その意見をもとに10月例会では報告書作成に向けてさらにその内容を当日の一般参加者にも再度参加いただきブラッシュアップした所であります。今回も完成した提言書を千歳市に提出し、教育行政の推進に役立てていただきたく思っております。次年度の実行委員会の独立に向けて、課題を一つずつクリアし、実現に踏み出せた一年になったかと思えます。以上、一年間の報告とさせていただきます。

一般社団法人千歳青年会議所  
2017年度 事務局 事務局長  
大宮 裕輔

2017年度は、事務局長という役職を与えていただき、渡部専務理事のもと、担当ラインの総務委員会とこの一年間活動して参りました。直接的な事業・例会は担当しませんでした。1月の新年交礼会では2017年度の千歳青年会議所の運動と体制をどのように出席者にお伝えしお披露目できるかを総務委員会と前年から議論を重ね構築して参りました。その他、対内向けには公益法人として定款や会則に則って総会や理事会の円滑な進行を心がけ、組織全体の運営に努めた他、事務局として他の委員会が事業・例会に専念しやすい環境を作ることを考え各委員会の運動をサポートさせて頂きました。またスノーバスターズや千歳ウエルカム花ロード、千歳川清掃、千歳神社まつりなどの他団体が実施する事業への参画、外部との調整窓口として地域が行う社会貢献活動にも積極的に関わり取り組んで参りました。特に外部事業に関しては、日頃、千歳青年会議所自らが行う活動に専念し目を向けてしまいがちですが、これらの外部事業を通じて、我々の日々の活動が多く方に支えられて実施できているということを改めて実感することが出来ました。この一年、事務局長として運動の表に立って活動することはほとんどありませんでしたが、LOMの裏方として千歳青年会議所の運動を支えられたこと、そして専務理事をはじめとする委員会メンバーに支えられてこの役職を全う出来たことに感謝の意を込めて、1年間の報告とさせていただきます。

一般社団法人千歳青年会議所  
2017年度 未来のCHITOSE 創造委員会 委員長  
今井 涼

本年度、千歳青年会議所のメイン事業である千歳リバーシティープロジェクトと2つの例会を担当させて頂きました。4月例会では、「運命共同体」をテーマに事業に対して、組織一丸となって活動していく意識を高める事を目的として、丸駒温泉にて決起集会を行いました。8月に開催した千歳リバーシティープロジェクトでは、三澤理事長の所信に掲げていた千歳ブランドをどのように創り上げていくか委員会メンバーと話し合い、2017年度は、地域資源の新たな価値の創造を目標に、1年間青年会議所活動に邁進していく事に致しました。その結果、道内でも非常に珍しい取り組みとして、多くの来場者に千歳川のせせらぎを感じる事の出来るように河川上にテラス席を設置致しました。当初、千歳川テラスの構想を考えた時には、安全面や費用面に加えて設計、施工業者が見つからないなど課題が山積みでありました。しかしながら、青年会議所に多く時間を割く事が難しい職種にも関わらず、委員会メンバーの皆様には、事業開催まで一生懸命活動して頂いたお陰で、昨年度よりも進化を遂げた事業を展開する事が出来ました。そして、12月には先輩諸氏に1年の活動報告と感謝の意を伝える事を目的に卒業式例会を開催致しました。結びになりますが、本年度担当した事業、例会の実施に際し、地域の皆様や先輩諸兄並びに関係諸団体のご協力を賜りました事に深く感謝を申し上げ、委員長報告とさせていただきます。

一般社団法人千歳青年会議所  
2017年度 次世代の千歳人育成委員会 委員長  
安部 優雅

次世代の千歳人育成委員会は本年、5月例会（3LOM合同例会）、Junior Chitose Ambassador 2017、9月例会を担当させて頂きました。5月例会（3LOM合同例会）では、『深めよう！個々のつながりから育む3LOMの絆！』をテーマにフライングディスクガッツというスポーツを行い、3LOMの交流を深めました。そして「ふるさと愛」溢れる千歳創造運動を实践すべく市内の高校生を対象に「Junior Chitose Ambassador 2017」を開催致しました。本年は千歳市に共催を頂き、新たな取り組みとして市内を巡るバスツアー「地域に会いに行こう」を実施致しました。そして8月9日に北ガス文化ホールでは市内3校から8チームに参加頂き、千歳の魅力を伝えるプレゼンテーションを行いました。参加して頂いた高校生は千歳の魅力を知り、関心を持つきっかけとなりました。優勝のチームにはRIVER CITY PROJECT 2017、支笏湖紅葉まつりで千歳のPRをして頂き、多くの方に千歳の魅力を発信することができ、市民にふるさと愛を育むきっかけを創出することができました。9月例会では『地域の魅力発信！目指せAmbassador』をテーマに事業の報告、検証を行いました。結びとなりますが、本年度の事業にご協力賜りました、多くの地域の皆様や先輩諸兄に深く感謝を申し上げ、委員長報告とさせていただきます。

一般社団法人千歳青年会議所  
2017年度 市民のまちづくり推進委員会 委員長  
木村 利貴

我々市民のまちづくり推進委員会は、本年度1事業3例会を担当させていただきました。最初の3月例会では、「確かなまちづくりの第一歩は、聞き出すチカラにあり！」と題して市民討議会に向けて及川委員を講師とし、ファシリテーション能力の向上を目的とした例会を構築致しました。そして6月に我々の事業、Voice of ちとせ 第5回千歳市民討議会を開催し、43名の一般参加者が義務教育の方向性について熱く議論致しました。また今回は、独立に向け、ほぼ市民討議会実行委員会が主体となって行い、準備から運営までをこなしていただきました。部会制の導入、規約の変更、そして予算捻出のためリバーシティ・プロジェクト出店という新たな試みも行いました。8月例会浴衣の女王選手権2018として千歳市納涼盆踊り大会に参加させていただきました。13名のエントリーをいただき、チケット100枚も完売し盛況に迫られることが出来たと思います。そして市民討議会の報告例会として、10月例会を開催し、市民討議会参加者を対象に市民討議会の結果報告、そして正会員・市民討議会実行委員会と交流していただく為、また次年度体制に向けて最後になるであろう提言書の作成を参加者全員に行っていただきました。最後に市民討議会の報告書を作成し、市民討議会の参加者を中心に配布させていただきました。また提言書を千歳市長に直接お届けし、サイレントマジョリティーの大切さについてご理解いただきました。

一般社団法人千歳青年会議所  
2017年度 LOM支援特別会議 議長  
吉岡 毅

当会議体は正会員の資質向上と会員拡大を主な担いとして設置され、二回の例会、四回のLOMアカデミー事業と3分間スピーチ事業、会員拡大活動を4名のメンバーで取り組んで参りました。2月例会ではJC三信条の理解を深め、3分間スピーチの手法を取り入れ、自己紹介と1年間の成長目標を発表し青年経済人、JAYCEEとしての意識を高めました。6月例会では会員拡大を目的に、総勢62名の青年経済人同士で親睦を図り、今後の会員拡大への可能性を拓けました。第一回事業ではセレモニー道場を開催し、第二回事業では勝俣政幸先輩に「JC活動を通して経験し学び得たもの今本業に活かされる」をテーマにご講演を頂き、三澤理事長との対談を実施し、その後の懇親会では11名のOB諸氏との交流を図りました。第三回事業では、正会員と家族間の交流を目的に、日本JC道德教育推進委員会副委員長 中島良太君（帯広JC所属）を講師としてお招きし、家族と共に今日からやれる「親道」プログラムを受け、4つの躰や親道10ヶ条を学びました。第四回事業では出向者による1年間の活動報告をして頂き、出向に対する理解と魅力発信に繋げました。結びに、議長として成長機会を与えて頂いたLOMと担当三役である増子副理事長、事業計画に辿り様々なご意見を頂いた理事会構成メンバー、そして共に活動した会議体メンバー、全ての正会員、関係者の皆様に感謝し1年間の報告とさせていただきます。

一般社団法人千歳青年会議所  
2017年度 総務委員会 委員長  
富樫 昭大

青年会議所入会2年目にも関わらず総務委員会委員長という役職を拝命し、新年交礼会という大事な例会を担当させていただきました。新年交礼会では2017年度体制、三澤理事長の門出を皆様にどう表現するべきか迷い、苦しんだことを思い出します。予定者の段階は次年度に向けた総務の担いがとても多く、新年交礼会も加わったことで毎日が青年会議所活動でした。不安の中の当日、多少のミスはあったものの、正会員の皆さんからたくさんの力を借り、周囲の方々から「良い新年交礼会だった」と声を掛けていただけた例会の構築を遂げることができました。目標としていた100%達成はお預けとなりましたが、97%出席で2017年度のスタートが切れたことで、共に活動する仲間としての意識を高めることができたと思っております。総務委員会が担当した例会は1つですが、総会や理事会といった基本的な運営から、SNSを用いた広報活動、各例会の補助を率先して手伝ってくれた委員会メンバーは頼れる存在でした。総務委員会は私を入れて3人という少ない人数構成ですが、12回の例会と12回の委員会全て100%出席を達成できた点も、目に見えない場所で総務の運営がLOMの下支えをしてきた証拠であると思っています。最後になりますが、1年間支えて頂いた先輩諸兄と共に活動したメンバー全員に感謝申し上げ、総務委員会の委員長報告とさせていただきます。本当にありがとうございました。

# 出向者報告

公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会  
顧問  
井溪 利光

本年は、公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会顧問として大変名誉ある役職を頂き、地区協議会役員の一員として、北海道の可能性に挑んだ一年でした。青年会議所は、まちづくり「奉仕」を通して「修練」からなる自己成長、助け合い支え合うことから生まれる強い絆「友情」、それらが今後のまちや個々の人生を豊かにすることで「明るい豊かな社会」がつくられるのであると、ようやく理解したころには卒業となる。顧問という役職は中でも、JCフォーラムや地区大会における事業の方向性や可能性を広げるために、役員会において意見を言わなければならない役職である。これまでJCの役職をさまざま経験してきたと言われるよりも言う方が厳しいものである。しかし、各LOMからお預かりした会員を成長なしに返すわけにはいかないといった責任ある役職であった。これまでの出向の繋がりから最後に顧問という役職を頂き貴重な経験をさせて頂いたのは、千歳JCから役員をきらずにきた先輩諸兄の皆さま方のお陰であると感謝の気持ちを申し上げたい。私もこれからを背負う会員にそのバトンを預けることができました。これからもそのバトンが続いていくことを願います。結びに、卒業を迎え最後の青年会議所活動になりますが、これまで自分自身の今と未来におおきな影響を与えていただいた千歳青年会議所、そして北海道地区協議会に感謝を申し上げ、出向者の報告とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会  
地区大会運営室 室長  
中山 千太郎

本年は、一般社団法人千歳青年会議所での専務理事、第53代理事長としての経験を活かし、北海道の発展に寄与し続けてきた地区大会である、公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会第66回北海道地区大会釧路大会の地区大会運営室の室長として出向する機会を頂きました。地区大会は北海道地区協議会の運動の集大成であり、目指すところは全ての道民が夢を描き行動する社会とするために、地域に眠る資源が再興への可能性であることを発信する釧路大会を企画、運営し、北海道の未来像を創造する主体者となる意識を喚起することでした。大会のメインフォーラムでは元日本サッカー代表の中田英寿氏をお迎えし、道民にはJCと共に自らのまちの未来を拓くべく確固たる信念から、地域そして北海道の変革に挑む気概を醸成することを目的とし、JCメンバーには新たな発想と価値観に触れ、自らのJC運動の在り方を新たな視点で捉えることで、私たちの運動が各地域で道民を巻き込みながらJCスパイラルを起すことに挑む気概を醸成することを目的として開催し、多くの共感と意識喚起を行えたものと自負しております。私自身、地区協議会への出向と地区大会構築に関わることで得た学びを活かし、本年で青年会議所を卒業しますが、これからも多くの市民を巻き込みJCスパイラルを巻き起こし、地域そして北海道の未来を変革する先駆者として挑み続けることを決意し、報告とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会  
教育再生推進委員会 委員長  
瀧 雄一

本年度は、公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会の教育再生推進委員会へ出向する機会を与えていただきました。本委員会では、道内の地域課題解決に向けた道民の自発的な行動を促すため、北海道に点在する多くの問題を自分事と捉える場を創出し、地域の問題に対する当事者意識を喚起することを目的として、「北海道JCフォーラム2017」、「第48次北方領土返還要求現地視察大会」、「第66回北海道地区大会釧路大会」での多くのフォーラムや事業を、道内各地より集まった23名の仲間とともに開催し、1年間活動させていただきました。自身が住まう地域の未来について真剣に議論し、同じ志を持つ仲間が全道にこんなにも多くいることに勇気づけられながら、何より自らが当事者として北海道が直面する課題に真正面から向き合うメンバーの姿勢に感銘を受けました。中村ブロック会長、鈴木室長をはじめ、委員会メンバーの皆様には心から感謝を申し上げます。また、出向という機会を与えてくださいました三澤理事長、千歳青年会議所メンバーの皆様にも心からの感謝を申し上げ出向者報告とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会  
地区大会運営委員会 副委員長  
曙 嘉輝

2017年度は公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会地区大会運営委員会に副委員長として出向させていただきました。主管である一般社団法人釧路青年会議所と、主催である公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会とが渾然一体となって第66回北海道地区大会釧路大会を構築していくことを横田会長から命ぜられた本年度は、主管である釧路青年会議所とどれだけコミットできるかを自分のテーマとして一年間活動して参りました。配属が懇親部会ということで、計画段階でどれだけ力となれたかには疑問符が付きますが、部会長とコミュニケーションを密にすることで主管と主催を含めた部会全体の雰囲気づくりが出来ました。また、釧路青年会議所の栗林理事長、金安副理事長が学年同期だったこともあり、二人と懇親部会メンバーでエクスカッションの下見となるゴルフコンペも開催していただけるなど、仲間意識の醸成は十分に出来たものと考えています。その成果もあり、懇親会場の設営当日は懇親部会メンバーのチームワークによってスムーズに設営が行われ、そこにまた友情の和が芽生えました。この出向を通して主管の地区大会にかける想いの大きさと気概を体感出来たこと、そして多くの仲間と出会えたことに感謝いたします。最後になりますが、地区大会運営室の中山千太朗室長にお声がけ頂き、貴重な経験を得ることが出来たことに改めて御礼申し上げ、出向者報告とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会  
教育再生推進委員会 委員  
大宮 裕輔

本年度は、公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会の教育再生推進委員会へ出向する機会を与えていただきました。本委員会では、日本に誇りを感じる国史教育の実現に向けた調査・研究・発信や北方領土返還に向けた意識高揚を図る事業などの実施に向け、同じLOMから出向した瀧委員長のもと、各事業に参画して参りました。5月開催の「北海道JCフォーラム2017教育再生フォーラム事業」では運営スタッフとして講師の竹田恒泰氏のアテンドを担当し、また竹田氏の講演を通じて他国では常識である自国の歴史や建国の歴史を知るという当たり前のことが日本では教育されないで育つ人が多くおり、自国の建国を理解することが、自国の歴史に誇りを持ち、国を愛することに繋がるということを改めて実感させられました。また7月の第48次北方領土返還要求現地視察大会では、北方領土洋上視察を担当し、船上から国境線である中間ライン付近から北方領土を見るという貴重な体験をさせて頂き、元島民でもある千島歯舞諸島居住者連盟河田氏の講話から戦後70年以上が経過してもなお未解決の北方領土を目の前にし、この問題の解決に向けて当事者意識を持って行動しなければならないことを再認識致しました。最後になりますが、今回の出向により多くの他LOMのメンバーとの出会いや貴重な体験をする機会を与えて頂いたLOMと出向先である全道各地の教育再生推進委員会の皆様に感謝を申し上げ私の報告とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会  
教育再生推進委員会 委員  
藤野 マキ

本年度、北海道地区協議会教育再生推進委員会へ出向させていただきました。5月に開催されたJCフォーラム2017では委員会参加もままならないまま当日を迎えることになりました。教育再生フォーラム～日本の誇りを取り戻すのはオレたちだ！～をスローガンにかかえ、瀧委員長をはじめとする委員会メンバーの熱き想いと事業にむかう姿勢には大きな気づきを与えてくれました。作家の竹田恒泰氏からのご講演、学生からの北方領土についての発表を終えた後の瀧委員長総括では解決に向かうためにはまず行動を起こすことだと言う力強い言葉に感動を受けました。7月には北方領土返還要求現地視察大会が開催され委員会メンバーの同じ目標に向かいやり遂げていく仲間の姿を見て忘れられないほどに深く感動し心に刻みつけることができました。初めての地で、初めての経験をする事ができ自分にも大きな影響を受け成長できたと感じています。各事業において十分な参加活動を行うことはできませんでしたが出向先での出会いや感動に深く感謝いたします。JCライフ最終年度にこのような素晴らしい場所に出向させていただいた三澤理事長ありがとうございました。私からの出向者報告とさせていただきます。

道央エリアアカデミー塾  
塾生 及川 進

2016年4月に一般社団法人千歳青年会議所に入会し、道央エリアアカデミー塾に出向させて頂きました。道央管内の LOM の垣根を越えたメンバーと共に活動出来る事の魅力を感じていました。しかし、日程の調整が出来ず、ほぼ出席する事ができませんでした。自身の LOM だけでなく、他の LOM 活動を意識するきっかけになりました。青年会議所の活動は地元 LOM の所属の委員会活動だけでなく、道央エリアアカデミー塾の様に外向や交流が沢山、仕事と家庭、JC としての活動の両立や自分の目指す未来像他、この機会への参加で悩んだ1年でありました。この外向により自身の JC 活動を考えたきっかけでもあります。運営スタッフの皆様には心から感謝申し上げます。

道央エリアアカデミー塾  
塾生 登立 太郎

2016年に一般社団法人千歳青年会議所に入会し、2年目の本年度は道央エリアアカデミー塾に出向させて頂きましたが、残念ながら参加する事ができませんでした。しかしながら11月に開催された事業「千歳JC出向報告会2017」にて外向の魅力を伝える講師を務めた事をきっかけに、他のアカデミー生に1年間の研修内容と多くの素晴らしい仲間が出来た事を聞き、その時にしかできない機会を逃した事を大変残念に感じました。私の青年会議所活動も残り1年間となり、失敗を恐れず積極的に挑戦し、生涯の仲間を作り、地域の発展に貢献する人材になる為日々邁進致します。最後になりますが、アカデミー塾を運営された方々に感謝を申し上げます。

---

## 年間MVP 報告

### 個人 MVP

#### 市民のまちづくり推進委員会

副委員長 藤野 マキ

### 委員会 MVP

#### 総務委員会

---

## 会員拡大対象者の皆様へ

一般社団法人千歳青年会議所  
2018年度 理事長 渡部順大

2017年度、専務理事を務めました渡部順大でございます。会員拡大対象者の皆様へのメッセージとの事ですので、一言記載させていただきます。今年度、千歳青年会議所は33名で活動を全う致しました。12ヶ月という限られた期間の中、本業に費やす時間とは別に青年会議所の活動に力を注ぐ事は、強い意思と責任感を必要と致します。

私が青年会議所の存在を知ってから現在までに感じた事として、対外の方の青年会議所へのイメージが「青年会議所って大変なんだってね」、「辛い事の方が多いみたいだね」、そういったネガティブな意見が多い事でした。このご意見は、まさしく私たち正会員の表情や行動に出ていたのではないのでしょうか。そして、この現状が払拭されない限り、青年経済人の皆様にご理解頂くのは、大変難しいものと考えます。そこで来年は「水のまち、空のまち、千歳を彩る灯りとなれ」、このスローガンの下に私たち正会員の笑顔の灯る活動をお見せしていきたいと思えます。会員一人ひとりが楽しく笑顔で活動を行えば、やがてその笑顔は体外の皆様にも伝わり、一緒に活動を行なっていきたいと考えて頂けると思えます。このメッセージをお読み頂いた皆様にも、2018年度の私たちの活動をご覧頂き、ご興味を持って頂ければ幸いです。共に活動できる仲間が増える事、それが私たち正会員のエネルギーとなり、そのエネルギーを千歳とそこに住まう方々の為に出し切りたいと思えます。そして、私たち自身が青年会議所会員として、また一青年経済人として、限りある時間を有意義に過ごせるよう、務めたいと思えます。

以上を、一般社団法人千歳青年会議所2018年度理事長、渡部順大から皆様へのメッセージとさせていただきます。今後とも、よろしくお願い致します。